ちば CHIBA pref.

銚子熱中小学校

2025春開校！新入生大募集！

もういちど7歳の目で世界を…

【ちば銚子熱中小学校入学要件】
★『もういちど、７歳の目で世界を』の精神で様々なことに挑戦したい方！
★地域との交流を楽しみたい県内外在住の方！

第１回授業（開校式）
4月5日(土) 13時～

１７時(終了予定)　会場：銚子マリーナ会議室
（千葉県銚子市潮見町15）

第一期 授業日程　2025年４月～９月

会場・時間は回によって変更となる場合がございます。その場合は事務局より事前にお知らせいたします。※会場はいずれも銚子市近郊を予定しています。

【入学・授業料のご案内】

区分	料金(６か月分)
一般	１５，０００円
追加家族	５，０００円
学生	５，０００円
法人(3名まで)	３０，０００円
スポット(１回)	３，０００円

（全て税込み・中学生以下は無料）

1 4月5日（土）

堀田 一芙（ほった かずふ）　一般社団法人熱中学園 代表理事 ㈱内田洋行顧問　1947年神奈川県横浜市 日本ミツバチ養蜂家 慶応義塾大学経済学部、インディアナ大学経営修士卒業 日本アイ・ビー・エム（株）常務取締役としてPC、ソフトウェア事業などを歴任。現在、地方創成の為の学びの活動「熱中小学校」、「食の熱中小学校」、のと復興音楽ツアーなどを行っている。著書に「老いてからでは遅すぎる」がある。

片岡 英夫（かたおか ひでお）　一般社団法人世界遺産協会 常任理事
山武市出身。県立成東高校、青山学院大学経済学部を卒業。海外・旅行地理検定試験で25回以上日本一を達成し、世界遺産検定マイスターの第一期生。世界遺産アカデミー認定講師として講演や著書の監修を行う。世界遺産約400件を訪れ、研究成果を各地で講義。テレビ出演や地域活動にも積極的に携わる。

2 5月10日（土）

粟飯原 理咲（あいはら りさ）　アイランド株式会社代表取締役インターネットサービスプロデューサー　国立筑波大学卒業後、NTTコミュニケーションズ、リクルート社を経て現職。日本最大級のお取り寄せの情報サイト「おとりよせネット」をはじめ「レシピブログ」「フーディーテーブル」「朝時間.jp」などのウェブサイトやキッチン付きイベントスペース「外苑前アイランドスタジオ」を運営。

岩本 直哉（いわもと なおや）　銚子市教育委員会社会教育課文化財・ジオパーク室主任学芸員。銚子ジオパーク推進協議会専門員。理学博士。大学では地質学より昔の環境・気候を復元する研究に携わる。愛媛大学理工学研究科博士後期課程修了後、川口市立科学館や栃木県立博物館、愛媛県総合博物館で勤務。その後、ジオパークに認定された銚子市で学芸員として採用され現在に至る。

3 6月7日（土）

倉崎 憲（くらさき けん）　1987年京都出身。2025年春からのNHK連続テレビ小説「あんぱん」制作統括を務める。過去にプロデュースした作品として「おかえりモネ」、「エール」、よるドラ「ここは今から倫理です。」、「ももさんと7人のパパゲーノ」、太平洋戦争80年・特集ドラマ「倫敦ノ山本五十六」、大河ドラマ「いだてん」、山形発地域ドラマ「私の青おに」がある。旅が好きで世界一周を含む51ヵ国を訪れる。

若宮 正子（わかみや まさこ）　1935年東京生まれ。60歳で独学でパソコンを習得し、81歳でiPhoneアプリ開発を開始。2017年に「hinadan」をリリースし、WWDC 2017で最高齢プログラマーとして紹介され話題に。2018年NY国連本部社会開発委員会イベントにてスピーチを行い、2021年11月、岸田内閣でデジタル田園都市構想委員に選出など政府のアドバイザリーを務め、デジタル社会の発展に尽力している。

4 7月5日（土）

Special lesson

山田 玲子（やまだ れいこ）　フェリス女学院大学卒業後、1995年から料理家として「食することは一番身近な外交」をモットーに活動。2014年には「おにぎりレシピ101」をバイリンガルで出版し、各国でおにぎりを通じてのイベントも開催中。また最近では長年の男性料理教室の経験を基に「定年ご飯」を出版し、定年準備はお金でなく食！とクラスを展開中。日本清酒協会JSA認定講師。

第４回授業は、
地元農家さんとのコラボによる
サテライト料理教室を企画中！
※会場は旭市内を予定

5 7月26日（土）

西澤 隆（にしざわ たかし）　20年にわたり、トップアスリートのサポートと指導者の支援をする中で、体を強くする、技を磨く、心を鍛えるだけではなく、コミュニケーションの質を高めることが、競技だけでなく人生にも大きな違いをもたらすことに辿り着く。自分自身と向き合い、周囲の人と良好な関係を構築することを通じて、人生の目的とより良い社会の両方を実現するための「ハッピーコミュニケーション」を提唱し、その普及に努めている。

米谷 博（こめたに ひろし）　千葉県銚子市出身。千葉県内の博物館に学芸員として勤務し、利根川の下流域をフィールドに江戸時代の社会について調査。利根川水運の主役だった「利根川高瀬船」、幕末の博徒たちを主役とした「天保水滸伝」、東下総地方の農村復興を指導した「大原幽学」、日本独特の数学文化の「和算」、流域のさまざまな石造物などの展示を多数企画・担当してきた。近年では流域の河岸に営まれた地方遊廓を追いかけている。

6 9月6日（土）

立山 まき子（たてやま まきこ）　熊本県人吉市出身。短期大学卒業、翌年同大学教育課程修了後、私塾にて英語を指導。1986年、明治10年創業のお茶屋立山商店に嫁ぎ、1990年より鍛冶屋町通りの街並み保存活動を行う。1998年には日本茶アドバイザーを取得、2003年には日本茶育士を取得して、小学校中学校、各地へ出向き日本茶の普及活動講座を行う。観光客への日本茶講座も人気である。

坂尾 英彦（さかお ひでひこ）　高校卒業後、クラブＤＪとして活動していたが約2年で地元に戻り農業をしながら副業としてレコードショップを開業。結婚を期に、子供服の買付け販売を行っていたが、価格競争のないオリジナル商材を模索した結果、身近にあった農業がオンリーワンであることに気が付く！副業でやっていたこと全てを辞めて、農業の閉鎖的なイメージを変え、次世代に誇れる産業にしていきたいと思い活動中！

【運営団体】一般社団法人 ちば熱中創造機構
info@choshi-necchu.net

お申し込みはこちらから
http://www.choshi-necchu.net/